第１８回　宮城県災害対策本部会議　議事要旨

１　日　時
　平成２３年3月１７日　１０時００分

２　場　所
　県庁行政庁舎４階　庁議室

３　配付資料
　第１８回宮城県災害対策本部会議資料

４　議事要旨

〇阿久津内閣府大臣政務官
・松本防災担当大臣から，今日から捜索救助活動と共に避難所における生活面のケアに特に注力して欲しいと指令を受けている。特に高齢者，子ども，妊産婦など要援護者へのケアが重要で，厚労省とも連携を取って責任を持って対応していきたい。

〇小野寺危機管理監
・死亡者１，６４３名，行方不明者２，２２３名，重傷者１６１名。
・昨日から避難者リストを県のホームページに掲載した。
・関西広域連合から県外避難の申し出あり。公営住宅等に京都２００戸，大阪府２，０００戸，兵庫６００戸，和歌山１２０戸，その他鳥取徳島滋賀県などかなりの人数を受け入れられるとのこと。兵庫県の高齢者施設では１，１５２人（障害者児含む）病院でもそれぞれ５００人，２００人の単位で受入可能とのこと。
・関西広域連合には，沿岸部へ物資や人的支援もいただいている。
・霞の目駐屯地の避難者は，昨日，仙台市内の指定避難所に移動したとのこと。
・農林水産省と防衛省の協議の結果，食料１５０万人分・水１５０万本を毎日，１週間を目安に，自衛隊の自衛隊機を使って送ると農林水産省から連絡があった。
・物資の集積拠点として，仙台地区は卸町，気仙沼市は現在総合児童公園を使っているが，手狭になってきたのでゴルフ場を利用する予定。
・水没して防災ヘリが使えなくなったが，川崎重工より無償で貸与したいと申し出があった。
・東北電力から電源車１０台準備出来るとのことだったので，希望部署は申し出てほしい。

〇村井災害対策本部長
・県のホームページについて，マスコミからのＰＲを宜しくお願いする。
・燃料がないのでなかなか簡単ではないが，疎開についても考えていきたい。
・食料は大量に届くが，燃料がないので，避難所に届いていないという状況。自衛隊

しかお願いできるところがないので，迷惑をかけるがよろしくお願いしたい。
・市町村長からも，燃料がなくて公用車が動かせないとの悲鳴が届いている。

〇仙台管区気象台
・強い寒気が入っていて，日本海側では豪雪の状態。
・西の風がやや強く，最大１１ｍ。明日は晴れ時々曇り，高気圧が張り出してくるので晴れる。風はやや強い。明日の朝は冷え込みが激しくマイナス５度を予想している。
・余震が引き続き発生している，引き続き警戒必要。津波にも注意が必要。
・気象庁のホームページのトップに東北地方太平洋沖地震の特設ページ作っているので，物資輸送等に役立てて欲しい。

〇今野総務部長
・２階の食堂に避難している人は相当少なくなり，食事提供は昨日の夕食で終了。

〇小泉環境生活部長
・福島原発の影響について，水質としては問題ないが，若干，県南で水の放射能の値が高くなっている。

〇岡部保健福祉部長
・高知，長崎，愛媛からＰＨＮ応援隊が入る予定。
・国に要請した医療チーム２チームの第一陣が入る予定。
・東北大学からも２０人が現地に入り，活動してもらっている。
・検死の医師の関係について医師会に要請している。
・ボランティアについては，国の連携室が来県。
・丸森の２ヶ所の避難所では，相当数，福島県から人が流入している。
・天皇陛下からお見舞い金が届いている。

〇河端経済商工観光部長
・ガソリンスタンドに警察官２名を配置してもらい，緊急用車両に提供。
・昨日の９時３０分から合庁定期便がスタート。
・セントラル自動車給水車の第２回目の提供２０ｔについて，多賀城市に運ぶことで調整。
・日帰り入浴は６施設で営業中。

〇橋本土木部長
・仙台空港では，救援機の物資輸送が今日から可能。

〇村井災害対策本部長
・国にお願いだが，，仙台航空では，現在，仙台市消防が燃料漏れを確認しているが，その後の使用可否は国の判断のようなので，早めの判断をお願いしたい。

○自衛隊
・ご遺体の収容２３０体，合計２，０９３体。

○小野寺危機管理監
・物資が思ったほど被災地に届いていない。途中で行方不明になったりしている。受け取り側の管理者がいないからだと思うが，県内２箇所に物資の集積所を定めたので，今後はスムーズになると思う。

○村井災害対策本部長
・離島はどうなっているか，燃料，食料は届いているのか。

○自衛隊
・日米共同作戦でトライしたが，天候不良で届けられなかったので，またトライする予定。

○竹内警察本部長
・第三次派遣として，九州と四国から８２７名が派遣されてくる。フランスとメキシコは撤収したが，韓国，ロシア，台湾，モンゴル３０３名，今後もトルコ，南アフリカも入ってくる。
・一部の外国からガソリンの支援申し出があるが，窓口は外務省。
・ご遺体の収容，昨日２，８９６体，２２箇所収容場所。確認に訪れる家族が多数来訪しており，対応要員を急遽派遣した。受付担当合計２３名。
・ご遺体の関係で２点問題点あり。昨日，一日の収容数が１，０８０体，引渡１５５体で，このまま増えると，安置スペースがなくなる。
・９０６名身元判明しているが，引き取り手がない。火葬埋葬の手段がない。
・推察氏名を公表しているが，避難所でホームページを見られない人が多く，見られるような体制を取って欲しい。これにより，身元判明のスピード上がる。
・行方不明者の相談ダイヤル９，４３４名相談。５００名は問題解決。
・緊急交通路として，気仙沼に入る国道２８４号を解除している。

○消防庁
・九州からの緊急援助隊３，０１３名が県内で活動している。
・ＪＡエネルギーのガソリン漏れは仙台市消防で対応しているが，昨日の調査で，３，４０８キロリットル中１５０キロリットル漏洩したものと推定される。現在，漏れた１５０キロリットルを泡で覆う作業中。

○東北電力（株）
・停電戸数３４５，０００戸，停電率２４％　復旧戸数１０３万戸。
・本日復旧予定戸数，１２３，０００戸，着手不可能な戸数，２２２，０６７戸

○村井災害対策本部長
・市町村に連絡し，明後日の朝までに，通電していない避難所を把握すること。

○小林教育長
・沿岸部の県立学校で避難所になっている所への内陸からの応援体制として，今日から，７つのルートにより可能な職員を集めて応援に行くこととしている。

○千葉病院局長
・シンシナティー大学の救急医学，放射線障害，災害学で国際的に著名なエドワード先生の派遣と３万ドルの寄付金申し入れがあった。

○村井災害対策本部長
・大量の家屋，車をどう処分していくか。国としての方針を示していただきたい。

次回は３月１７日１８時００分に開催する。